

香川県森林公園条例

昭和五十三年三月二十五日

条例第二号

改正 昭和六三年 三月二四日条例第六号 平成一七年 七月一五日条例第四六号

平成一七年一二月二〇日条例第六二号

香川県公渕森林公園条例をここに公布する。

香川県森林公園条例

(設置)

第一条 県民の心身の健康の増進並びに森林及び緑化に関する知識の向上を図るため、森林公園を次のとおり設置する。

名称	位置
香川県公渕森林公園	高松市及び木田郡三木町
ドングリランド	高松市
香川県満濃池森林公園	仲多度郡まんのう町

(利用の許可)

第二条 森林公園を利用しようとする者は、規則で定めるところにより、知事の許可を受けなければならない。許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

(指定管理者による管理)

第三条 森林公園の管理は、地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第二百四十四条の二第三項に規定する指定管理者（以下「指定管理者」という。）に行わせることができる。

2 知事は、法人その他の団体であつて、次に掲げる指定の基準に適合すると認められるものを、その申請により、議会の議決を経て、指定管理者として指定することができる。

一 森林公園の平等な利用が確保されること。

二 森林公園の管理に係る事業計画書（以下「事業計画書」という。）の内容が、森林公園の効用を十分に発揮することができるものであるとともに、その管理に係る経費の縮減が図られるものであること。

三 事業計画書に沿った管理を安定して行う能力を有していること。

四 その他森林公園の設置の目的を効果的に達成するため知事が必要と認める基準

3 知事は、森林公園の特性に応じた管理の必要性その他の特別な事情があると認めるときは、前項の申請をすることができる団体を、公共団体若しくは公共的団体又は県が資本金、基本金その他これらに準ずるものの二分の一以上を出資している法人に限ることができる。

4 第二項の規定による指定を受けようとするものは、申請書に事業計画書その他知事が必要

と認める書類を添付して、知事に提出しなければならない。

- 5 知事は、第二項の規定による指定をしたときは、その旨を公示しなければならない。地方自治法第二百四十四条の二第十一項の規定により指定を取り消し、又は管理の業務の停止を命じたときも、同様とする。
- 6 指定管理者は、規則で定める管理の基準に従い、森林公園の維持管理その他の規則で定める業務を行うものとする。
- 7 森林公園の管理を指定管理者に行わせることとした場合における前条の許可は、当該指定管理者がするものとする。この場合において、同条の規定の適用については、同条中「知事」とあるのは、「指定管理者」とする。

(委任)

第四条 この条例に定めるもののほか、森林公園の管理について必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、昭和五十三年四月一日から施行する。

附 則 (昭和六十三年三月二十四日条例第六号)

この条例は、昭和六十三年六月一日から施行する。

附 則 (平成十七年七月十五日条例第四十六号)

(施行期日)

- 1 この条例は、公布の日から施行する。

(経過措置)

- 2 次の表の上欄に掲げる規定による改正前の同表の中欄に掲げる規定は、それぞれ同表の上欄に掲げる規定による改正後の同表の下欄に掲げる規定による指定がされるまでの間は、なおその効力を有する。

編注 関係分のみ登載

第七条	香川県森林公園条例第二条	香川県森林公園条例第三条第二項

附 則 (平成一七年一二月二〇日条例第六二号)

この条例は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定める日から施行する。

一～三 〔略〕

四 (前略) 第二一条 (中略) の規定 平成一八年三月二〇日

五 〔略〕

香川県森林公園規則

昭和五十三年三月三十日

規則第十四号

改正	昭和五五年	三月三十一日規則第一六号	昭和六三年	五月二〇日規則第二九号
	平成一一年	三月二六日規則第七号	平成一二年	三月三十一日規則第五四号
	平成一五年	三月三十一日規則第四九号	平成一七年	十月十四日規則第九八号
	平成三一年	三月一九日規則第一二号	令和二年	三月三十一日規則第二〇号

香川県公測森林公園規則をここに公布する。

香川県森林公園規則

(趣旨)

第一条 この規則は、香川県森林公園条例（昭和五十三年香川県条例第二号）第三条第六項及び第四条の規定に基づき、香川県森林公園（以下「森林公園」という。）の管理について必要な事項を定めるものとする。

(施設の利用時間)

第二条 次に掲げる施設を利用することができる時間は、午前九時から午後五時までとする。

一 香川県公測森林公園の次に掲げる施設

イ 森林学習展示館

ロ ^{もり}森林のギャラリー

ハ 公測憩いの家

二 ドングリランドのドングリランドビジターセンター

三 香川県満濃池森林公園の次に掲げる施設

イ 森林学習展示館

ロ 野鳥観察小屋

ハ ^{もり やかた}森林の 館

ニ 駐車場

2 知事は、必要があると認めるときは、前項の規定にかかわらず、臨時に、施設を利用することができる時間を変更することができる。

(施設を利用することができない日)

第三条 前条第一項各号（第三号ニを除く。）に掲げる施設を利用することができない日は、次のとおりとする。

一 一月四日から四月二十八日まで、五月六日から七月十九日まで及び九月一日から十二月二十八日までの間の火曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和二十三年法律第百七十八号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日）

二 十二月二十九日から翌年の一月三日までの日

2 知事は、必要があると認めるときは、前項の規定にかかわらず、臨時に、施設を利用することができない日を変更し、又は施設を利用することができない日を設けることができる。

（利用の許可を要する施設）

第四条 森林公園のうち香川県森林公園条例第二条（同条例第三条第七項後段において読み替えて適用する場合を含む。）の許可を受けなければならない施設は、次に掲げる施設とする。

一 香川県公湊森林公園の次に掲げる施設

イ 青少年の森キャンプ場

ロ 青少年の森炊飯場

ハ 芝生広場横炊飯場

ニ 炭焼き窯

二 香川県満濃池森林公園の野鳥観察小屋

（利用の許可）

第五条 香川県森林公園条例第二条前段の規定による利用の許可（以下「利用許可」という。）を受けようとする者は、森林公園施設利用許可申請書（第一号様式）を知事に提出しなければならない。

2 知事は、利用許可を受けようとする者が次の各号のいずれかに該当するときは、利用許可をしないことができる。

一 森林公園の秩序を乱し、又は公益を害するおそれがあると認められるとき。

二 森林公園の施設又は設備を損傷するおそれがあると認められるとき。

三 森林公園の利用により暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成三年法律第七十七号）第二条第二号に規定する暴力団を利するおそれがあると認められるとき。

四 その他森林公園の管理上支障があると認められるとき。

3 利用許可には、森林公園の管理上必要な範囲内で条件を付することができる。

（利用の許可の変更）

第六条 利用許可を受けた者（以下「利用許可者」という。）は、香川県森林公園条例第二

条後段の規定による変更の許可（以下「変更許可」という。）を受けようとするときは、森林公園施設利用許可変更申請書（第二号様式）を知事に提出しなければならない。

2 前条第二項及び第三項の規定は、変更許可について準用する。

（利用許可の取消し等）

第七条 知事は、利用許可者が次の各号のいずれかに該当するときは、利用許可若しくは変更許可を取り消し、又は森林公園の利用の停止を命ずることができる。

- 一 この規則の規定に違反し、又は知事の指示に従わなかったとき。
- 二 第五条第二項各号のいずれかに該当することとなつたとき。
- 三 偽りその他不正の手段により利用許可又は変更許可を受けたとき。
- 四 第五条第三項（前条第二項において準用する場合を含む。）の規定により付された許可の条件に違反したとき。

（行為の許可）

第八条 森林公園において、次に掲げる行為をしようとする者は、森林公園内行為許可申請書（第三号様式）を知事に提出してその許可を受けなければならない。

- 一 物品販売、業としての写真撮影その他の営業行為
- 二 募金、署名運動その他これらに類する行為
- 三 映画会、競技会、展示会その他これらに類する催しのために森林公園の全部又は一部を独占して利用すること。

2 前項の許可を受けた者が、許可を受けた事項を変更しようとするときは、森林公園内行為変更許可申請書（第四号様式）を知事に提出してその許可を受けなければならない。

3 第五条第二項及び第三項並びに前条の規定は、前二項の許可について準用する。

（行為の禁止）

第九条 森林公園を利用する者は、森林公園において次に掲げる行為をしてはならない。ただし、前条の許可に係る行為については、この限りでない。

- 一 森林公園を損傷し、又は汚損すること。
- 二 竹木を伐採し、又は植物を採取すること。
- 三 土石の採取その他の土地の形質の変更をすること。
- 四 はり紙、はり札その他の広告物を表示すること。
- 五 立入禁止区域に立ち入ること。
- 六 指定された場所以外の場所に車両を乗り入れること。
- 七 指定された場所以外の場所で野営をすること。
- 八 指定された場所以外の場所でたき火又は炊き火をすること。

2 森林公園においては、前項各号に掲げる行為のほか、その利用者等に著しく迷惑をかける行為若しくは危害を及ぼすおそれのある行為又はその管理上著しく支障となる行為をしてはならない。

（利用の禁止又は制限）

第十条 知事は、森林公園の損壊その他の理由によりその利用が危険であると認められる場合又は森林公園に関する工事のためやむを得ないと認められる場合においては、森林公園を保全し、又はその利用者の危険を防止するため、森林公園の利用を禁止し、又は制限することができる。

(利用者に対する指示等)

第十一条 知事は、森林公園の管理のため必要があると認めるときは、森林公園を利用する者に対し、森林公園の管理上必要な指示をすることができる。

2 知事は、森林公園を利用する者が次の各号のいずれかに該当するときは、森林公園からの退去その他森林公園の管理上必要な事項を命ずることができる。

- 一 この規則の規定に違反したとき。
- 二 前項の規定による指示に従わなかつたとき。

(書面のファクシミリ装置による提出)

第十二条 第五条の規定により知事に提出すべき書面は、ファクシミリ装置を利用して送信することにより提出することができる。

2 前項の規定によりファクシミリ装置を利用して書面が提出されたときは、知事が受信した時に、当該書面が知事に提出されたものとみなす。

3 知事は、前項に規定する場合において、必要があると認めるときは、提出者に対し、送信に使用した書面を提出させることができる。

(指定管理者による管理の基準等)

第十三条 香川県森林公園条例第三条第六項の規則で定める管理の基準は、次に掲げるとおりとする。

- 一 関係する法令、条例及び規則を遵守し、適正に森林公園の運営を行うこと。
- 二 森林公園の維持管理を適切に行うこと。
- 三 業務に関して取得した個人に関する情報を適切に取り扱うこと。

2 香川県森林公園条例第三条第六項の規則で定める業務は、森林公園の維持管理及び利用の許可に関する業務その他の運営に関する業務とする。

3 指定管理者が前項に規定する業務を行う場合における第五条第二項、第七条、第十条及び第十一条の規定の適用については、これらの規定中「知事」とあるのは、「指定管理者」とする。

4 森林公園の管理を指定管理者に行わせることとした場合における第二条、第三条、第五条第一項、第六条第一項、前条及び次条に規定する事項については、これらの規定にかかわらず、指定管理者があらかじめ知事の承認を受けて定めるところによることとする。

(補則)

第十四条 この規則に定めるもののほか、森林公園の管理について必要な事項は、別に定める。

附 則

- 1 この規則は、昭和五十三年四月一日から施行する。
- 2 香川県公渚森林公園事務所設置規則（昭和五十年香川県規則第十号）の一部を次のように改正する。

（次のよう略）

附 則（昭和五十五年三月三十一日規則第十六号）

この規則は、昭和五十五年四月一日から施行する。

附 則（昭和六十三年五月二十日規則第二十九号）

（施行期日）

- 1 この規則は、昭和六十三年六月一日から施行する。
（香川県出先機関事務決裁規則の一部改正）
- 2 香川県出先機関事務決裁規則（昭和四十四年香川県規則第五号）の一部を次のように改正する。

（次のよう略）

附 則（平成十一年三月二十六日規則第七号）

- 1 この規則は、平成十一年四月一日から施行する。
- 2 改正前の各規則に定める様式による用紙は、当分の間、使用することができる。

附 則（平成十二年三月三十一日規則第五十四号）

この規則は、平成十二年四月一日から施行する。

附 則（平成十五年三月三十一日規則第四十九号）

- 1 この規則は、平成十五年四月一日から施行する。
- 2 この規則の施行前に改正前の香川県森林公園規則の規定に基づいて提出された申請書は、改正後の同規則の規定に基づいて提出された申請書とみなす。

附 則（平成十七年十月十四日規則第九十八号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成三十一年三月十九日規則第九十八号）

- 1 この規則は、平成三十一年七月一日から施行する。
- 2 改正前の規則で定める様式による用紙は、当分の間、修正して使用することができる。

附 則（令和二年三月三十一日規則第二十号）

この規則は、令和二年四月一日から施行する。

附 則（令和三年七月十五日規則第五十九号）

- 1 この規則は、令和三年九月一日から施行する。
- 2 改正前の各規則に定める様式による用紙は、当分の間、使用することができる。

附 則（令和七年六月十日規則第七十四号）

- 1 この規則は、公布の日から施行する。
- 2 改正前の第1号様式及び第2号様式による用紙は、当分の間、使用することができる。

森林公園施設利用許可申請書

年 月 日

香川県知事 殿

申請者 住 所
氏 名〔団体にあつては、その
名称及び代表者の氏名〕

次のとおり森林公園の施設の利用の許可を受けたいので申請します。

利 用 す る 公 園	<input type="checkbox"/> 香川県公湊森林公園 <input type="checkbox"/> 香川県満濃池森林公園		
利 用 す る 施 設	<input type="checkbox"/> 青少年の森キャンプ場 <input type="checkbox"/> 青少年の森炊飯場 <input type="checkbox"/> 芝生広場横炊飯場 <input type="checkbox"/> 炭焼き窯 <input type="checkbox"/> 野鳥観察小屋		
利 用 日 時	年 月 日 時から 年 月 日 時まで	利用予定人数	人
利 用 目 的			
備 考			

- 注 1 この申請書は、利用する公園ごとに作成してください。
- 2 □については、該当するものに「✓」を記入してください。

森林公園施設利用許可変更申請書

年 月 日

香川県知事 殿

申請者 住 所
氏 名〔団体にあつては、その
名称及び代表者の氏名〕

次のとおり森林公園の施設の利用の変更許可を受けたいので申請します。

利用する公園	<input type="checkbox"/> 香川県公湊森林公園 <input type="checkbox"/> 香川県満濃池森林公園	
利用する施設	<input type="checkbox"/> 青少年の森キャンプ場 <input type="checkbox"/> 青少年の森炊飯場 <input type="checkbox"/> 芝生広場横炊飯場 <input type="checkbox"/> 炭焼き窯 <input type="checkbox"/> 野鳥観察小屋	
変更の内容	変 更 前	変 更 後
変更の理由		

- 注 1 この申請書は、利用する公園ごとに作成してください。
- 2 □については、該当するものに「☒」を記入してください。

森林公園内行為許可申請書

年 月 日

香川県知事 殿

申請者 住 所

氏 名 ⑩

〔団体にあつては、その
名称及び代表者の氏名〕

次のとおり森林公園内における行為の許可を受けたいので申請します。

行為をする公園	<input type="checkbox"/> 香川県公渕森林公園 <input type="checkbox"/> ドングリランド <input type="checkbox"/> 香川県満濃池森林公園
目 的	
内 容	
期 間 及 び 時 間	
行 為 の 場 所	
利 用 面 積	

- 注 1 この申請書は、行為をする公園ごとに作成してください。
- 2 □については、該当するものに「☒」を記入してください。
- 3 目的の欄には、何々の販売、何々のための写真撮影、何々のための募金、何々のための映画会の開催等の行為の目的を具体的に記載してください。
- 4 内容の欄には、物品の販売をする場合にあつては販売品目及び従事する人数を、写真撮影をする場合にあつては撮影機の台数及び従事する人数を、催しを行う場合にあつては有料又は無料の別、従事する人数及び参加する人数を、その他の場合にあつてはその内容を具体的に記載してください。
- 5 行為の場所の欄には、施設の名称等を具体的に記載してください。
- 6 氏名の記載を自署で行う場合は、押印を省略することができます。

年 月 日

香川県知事 殿

申請者 住 所

氏 名

印

〔団体にあつては、その
名称及び代表者の氏名〕

次のとおり森林公園内における行為の変更許可を受けたいので申請します。

行為をする公園	<input type="checkbox"/> 香川県公湊森林公園 <input type="checkbox"/> ドングリランド <input type="checkbox"/> 香川県満濃池森林公園	
変 更 の 内 容	変 更 前	変 更 後
変 更 の 理 由		

- 注 1 この申請書は、行為をする公園ごとに作成してください。
- 2 □については、該当するものに「☒」を記入してください。
- 3 氏名の記載を自署で行う場合は、押印を省略することができます。